

7 信頼・不信・過信

高い知能と自律性を備えた機械は人が為すべき仕事を代わりにこなしてくれるありがたい存在です。使いはじめの頃は、「この機械は大丈夫か？宣伝どおりの能力をもっているのか？」との不安があるかもしれません。しかし、賢く振る舞う様子を何回か見ているうちに、「なかなかやるではないか」と思うようになります。成功体験がさらに繰り返されていくうちに、「何が起こっても、この機械ならうまく対応してくれるだろう」といったような期待を抱くようになることもあるでしょう。

機械の能力の過小評価や過大評価は事故の要因になることがあります。機械の知能や自律性が高くなっている今、機械の能力を正しく見極めることは容易ではありません。

そこで、人が機械を信頼するとはどういうことか、機械に対する不信や過信とは何か、それらを抱くのはどういうときか、不信や過信を防ぐ手だてはないのか、人は賢い機械があれば、それにすべてを任せようとするのか、などについて考えてみることにしましょう。